

くまの議会だより



目指せ! 中国大会!!

令和8年
3月定例会

筆の都くまの



熊野町観光大使 ふでりん

主な内容

- 令和8年度予算
- すばり町政を問う!
- ガンバル部活

第138号
2026.5.1

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <https://www.town.kumano.lg.jp> E-mail:gikai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

選ばれ住み続けられる町を目指して

令和8年度当初予算を可決 一般会計 過去最大の124億2,319万円 (前年度比 3.7%増)

3月定例会 注目の事業をピックアップ

3月定例会は、3月3日に開会し3月6日に閉会しました。町長の施政方針が示され、上程された令和8年度一般会計当初予算案などを慎重に審議し、発議を含め22議案いずれも原案通り可決しました。一般質問では、7人の議員が町政の課題など質しました。

子育て支援

保育所等の待機児童対策



定員増に向けた施設整備に取り組む
事業者に整備費を補助
9,840万円

放課後児童クラブの運営



支援員の安定確保と民間事業者の
ノウハウを活かした事業運営に移行
1億2,600万7千円 (事業費全体)

安全・安心な生活基盤の整備

町道萩原線の新設



県道矢野安浦線バイパスと阿戸別れ
交差点を結ぶアクセス道の整備
5,326万4千円

家庭用防犯カメラ等設置費の補助



防犯カメラや録画機能付きインターフォンの
設置に補助 (補助率1/2 上限3万円)
328万1千円

教育支援

ICTを活用した学校教育の推進



小中学校の児童生徒に1人1台の
タブレット端末を整備・更新
1億4,850万円

学校給食費の保護者負担軽減



小学生の給食費無償化と中学生給食費の
負担軽減 (1人1食40円の補助)
7,397万7千円

地域の魅力創出

筆の里工房周辺整備



大型遊具や駐車場を備えた
都市公園の整備
6億2,571万5千円

予算会計別総括表 (単位: 万円-%)

会計名	令和8年度 当初予算額	前年度比較	
		増減額	増減率
一般会計	124億2,319	4億4,366	3.7
特別会計			
国民健康保険	19億1,432	△3億6,992	△16.2
後期高齢者医療	10億8,131	6,402	6.3
介護保険	27億4,714	2億5,999	10.5
企業会計			
下水道事業	11億8,057	1,140	1.0
合計	193億4,653	4億915	2.2

CHECK

令和8年度 当初予算



3月4日から6日の3日間、議員全員で構成する予算特別委員会を開催し、令和8年度予算の審議を行いました。



▲予算特別委員会

【歳出】

友好都市交流事業

どのようなことをやっているか。

【企画担当部長】

三重県熊野市に中学生を派遣し交流を深めることや、イベント等に出向き熊野町のPRをしている。



▲三重県熊野市で行われたオール熊野フェスタ

行政情報化事業

1月の大雪の日、熊野トンネル等の通行止めの情報がホームページ上で確認できなかった。対策は。

【副町長】

今後、ホームページを改良していく。

公有財産管理事業

公共施設の照明を全てLEDに交換する事業だが、今後の工程は。

【技術次長】

プロポーザル方式で業者を決め設計、施工一括発注により、令和8年度内で完了させる。

地域おこし協力隊事業

どのようなことを行ってもらうのか。

【産業観光課長】

3名の採用を予定している。2名が新しくできる創作館でカフェの運営。

1名が熊野筆事業協同組合で活動してもらい熊野筆を盛り上げていただきたいと考えている。

国際交流事業

町内在住の外国人と交流を図る事業だが内容は。

【産業観光課長】

年1回子ども達に外国の食べ物や風習等に触れてもらっている。

家庭用防犯カメラ等設置補助金

令和7年度の申請件数は。

【生活環境課長】

インターフォン241件、防犯カメラ130件申請があった。



▲当初見込みを大幅に上回る申請がありました。

予算と事業をチェック!

新規就農者育成総合対策事業

どのような事業か。

【農林緑地課長】

49歳以下の方に経営開始資金を交付する制度。令和8年度に新規就農者1人が見込まれるため、交付金の準備をしている。

猫の不妊去勢手術費補助金

内容は。

【生活環境課長】

野良猫に避妊手術を行う事業で、調整中だが、1件2万円分で15件分計上している。

放課後児童クラブ運営業務委託事業

民間事業者へ運営を委託するが、今働いている方の対応はどのようになるか。

【子育て支援課長】

業務委託先に引き続き、条件をなるべく変えず雇用してもらえよう願っている。

郷土館管理運営事業

修繕費100万円計上しているが、内訳は。

【教育部長】

通常の修繕費に10万円、雨漏り等の臨時修繕に90万円計上している。



▲老朽化した郷土館

コンクリートブロック塀除却補助金

予算額が倍になっているが活用される方が増えたのか。

【技術次長】

令和6年度まで3、4件程度だったが7年度に8件、既に相談も数件あるため8年度は10件分用意した。

学校給食事業

物価高騰で質、量が落ちないか危惧しているが。

【教育部長】

小学校の1食の給食費を295円から310円にした。質、量とも落とさないよう努力する。



森づくり交付金

整備する場所は。

【農林緑地課長】

さくら野団地の北側にある町有地の里山を整備する。

小中学校教員の確保状況

小中学校の教員不足についての報道があったが、教員の確保状況と中学校各教科の教員配置状況は。

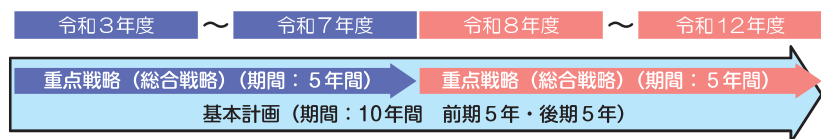
【教育委員会教育指導官】

本町においての教員の確保状況は不足なく配置できている。中学校各教科の配置状況も滞りなく充足している。

3月定例会 こんなことが決まりました！

第6次熊野町総合計画

10年計画（令和3年から令和12年）の後半5年間（令和8年から令和12年）がスタートしました。



第6次熊野町総合計画は令和3年度からの10年間の方針として策定し、基本構想においてまちの将来像を「ひと・まち・育む・筆の都 熊野 ～なんかいい ちょうどいい そう想える まちを目指して～」とし、まちづくりに係る施策を推進しています。

●基本目標

- 1：誰もが元気で健やかに暮らせるまち
- 2：学ぶ力と豊かな心を育むまち
- 3：活力と魅力に満ちた元気なまち
- 4：安心・安全で快適に暮らせるまち
- 5：人と自然が調和する美しいまち
- 6：自立と協働 みんなで創る持続可能なまち

●主な進捗状況

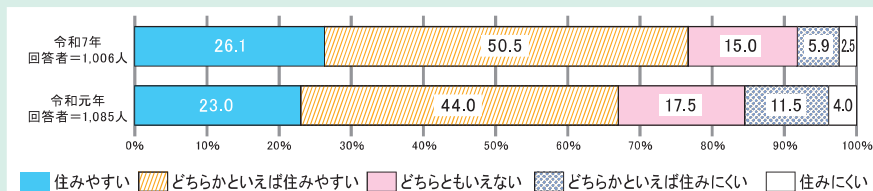
- ・学校給食・食缶方式の全員喫食制への移行による食育の充実に取り組みました。
- ・コミュニティ・スクールの活用による各学校の特色や地域性を生かした取り組みを推進しました。
- ・防犯灯や防犯カメラの設置補助、交通安全運動の実施による交通ルール・マナー向上に取り組みました。
- ・住民一人当たりの公園面積の拡大を推進しました。
- ・行政手続きのオンライン化や「書かない窓口」の導入を推進しました。

●主な今後の課題

- ・コミュニティ・スクールの活用による地域と連携した学校づくりを推進する必要があります。
- ・今後も警察や地域団体等との連携により取組や町HP等の広報媒体を活用し、交通事故数の減少や「交通死亡事故ゼロ」に取り組みます。
- ・森づくりの重要性を感じることでできる取組を行うとともに、ボランティア団体のモチベーション向上につながる支援をする必要があります。
- ・研修実施等により職員へ意識改革をもたらし、整備した庁内環境やデジタルツールを最大限に活用することで業務改革を図り、業務効率化と住民の利便性向上を目指します。

●「熊野町の住みやすさについてどう思うか」のアンケート結果

熊野町は住みやすいと答えた方が令和元年は67.0%に対し、令和7年は76.6%と増加。住み続けたいと答えた方も令和7年には80%を超えました。



全議員参加による熊野町議会改革特別委員会を設置しました。

委員長：時光 良造議長 副委員長：大瀬戸 宏樹副議長



●目的

- ・議会活動の活性化を図る
- ・議員活動の情報を公開し、透明性の向上を図る。
- ・町民の生活向上を図るため、これからの本町議会の在り方などを改革していく。

●調査期間

議会の閉会中も調査を行うことができるものとし、調査終了まで継続して調査を行う。

熊野町選挙管理委員及び補充員選挙結果

令和8年3月29日に任期満了することに伴い、議長の指名推薦により委員4名、補充員4名の当選者が決定しました。

《委員》 藤川 千浪氏（萩原） 住岡 宣博氏（新宮）
高橋 直氏（新宮）、荒谷 精二氏（呉地）

《補充員》 一位 土路 智昭氏（城之堀）、二位 沖田 浩氏（東山）
三位 森本 昌義氏（呉地）、四位 上馬場 義文氏（萩原）



選挙管理委員とは・・・

委員は選挙権を持っている人のうちから、町議会議員による選挙で選ばれます。主な仕事は、国政・地方選挙などの事務を管理することです。任期は4年、熊野町の委員数は4名です。

人権擁護委員の候補者を決定（諮問1号・2号）

6名の人権擁護委員のうち、3名の任期が令和8年6月30日で満了することに伴い、2名の再任が適切であると判断しました。

◎ 荒谷 直美氏（川角） ◎ 竹森 由美子氏（出来庭）

人権擁護委員とは・・・

市町村からの推薦を受けて法務大臣が委嘱するもので、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決をお手伝いしたり、法務局と協力して人権侵害を受けている被害者を救済したり、地域の皆さんに人権に関心を持ってもらえるような活動を行う人のことです。任期は3年です。



録画映像

藤本 健太 議員

Q 児童生徒の学校生活の現状は

A 教育部長

児童生徒一人一人をサポートできる体制をつくっている。

【Q1】

現在の本町の小中学校の不登校者数は。

【A1】

令和7年度1月末時点で小学生30人、出現率2.6%、中学生52人、出現率8.5%。

【Q2】

不登校児童生徒への対策は。

【A2】

担任、副担任や生徒指導主事、学年主任等の家庭訪問に加えて、スクールソーシャルワーカーが家庭訪問をしている。また、ICTを活用し、学校と不登校児童生徒がよりつながりやすくしている。その他の対策として、SSR（スペシャルサポートルーム）の導入など。

【Q3】

学校給食が弁当方式から食缶方式に変更し

たが、児童生徒、保護者の反応は。

【A3】

アンケート結果より児童生徒の反応は、「給食時間の楽しさ」、「温かさへの評価」、「味付け」について、肯定的意見が60%～80%程度あり、満足度が高い状況。

家庭では、「おいしかった」、「おかわりした」と会話が増加し、親子のコミュニケーションが活発になったとの声や、給食当番などの経験が家庭での手伝いや責任感に繋がっているとの声も寄せられている。

一方で量が足りないとの声が届いている。

残食量・残食率との関係も踏まえ、注ぎ分けやおかわりの仕方について検証する必要があると考える。



Q 今後の下水道にかかわる整備は

A 建設農林部長

熊野町下水道ストックマネジメント計画に基づき更新していく。

【Q1】

熊野団地の改築更新事業は予定通り終わるのか。

【A1】

予定通り令和10年には完了する予定。

【Q2】

熊野団地が完了した後の計画は。

【A2】

本城団地、皇帝ハイツ、大原ハイツの調査から順次着手していきたいと考えている。

【Q3】

3つの団地で、老朽化により陥没などは発生していないのか。

【A3】

令和6年度に、本城団地内で1件幅50cm四方、深さ45cmの陥没があった。

その後、団地内の点検を行い、異常は見つからなかったことから、部分的な老朽化で、緊急性はないと考えている。

【Q4】

一部が事故をすれば、他の近い箇所も同様にならないのかと感じるが、ここに対してはなんらかの点検、調査は実施されているか。

【A4】

日常業務による目視のパトロールと、全職員に、通勤時や業務で町内に出る時など、道路等の異常があれば通報してもらうようにしている。



ずばり 町政を問う!

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

皆さんの「くらし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
9	藤本 健太 議員	1. 児童生徒の学校生活の現状は 2. 今後の下水道にかかわる整備は
10	中島 数宜 議員 竹爪 憲吾 議員	1. デジタル化による業務等の取組み状況は 1. 子育て支援と対策は
11	水原 耕一 議員	1. 地域コミュニティの場が減少、対策は 2. 民生委員・児童委員に対する支援は
12	沖田 ゆかり 議員	1. 出生届のオンライン化を 2. 断水時の水の確保と供給を
13	片川 学 議員	1. 高齢者等への環境省指針のゴミだし支援を 2. 過去に無い熊野トンネル・矢野峠通行止めは
14	尺田 耕平 議員	1. 創作館等新規施設の運営戦略は

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ(<https://www.town.kumano.lg.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。



中島 数宜 議員



録画映像

Q デジタル化による業務等の取組み状況は

A 企画担当部長

町民の利便性の向上と、業務の効率化を目的に取組みを推進している。

【Q1】
行政手続き等のオンライン化の状況は。

【A1】
町民の利便性の向上と、行政事務の効率化を図るため、手続きのオンライン化を推進している。具体的には、図書貸し出し予約、水道使用開始届、子育て・介護等の主要な手続きのオンライン申請を可能し、来庁不要で手続きができる環境を拡充整備した。

【Q2】
住民への情報伝達のデジタル化状況は。

【A2】
公式LINE機能の拡充や、24時間自動で質に回答する「チャットボット機能」を導入した。また、町内放送の内容をホームページや公式LINEでも確認できるように情報

伝達の多重化を図っている。

【Q3】
今後の展望は。

【A3】
国の方針によるマイナンバーカードと運転免許証等との一体化等、カードの活用範囲は更に拡大するものと認識している。

【Q4】
デジタル化が進むと高齢者にデジタルデバイス（情報格差）が生まれる。その対策は。

【A4】
スマホ教室の充実を図り、便利さ、簡単さを体験していただける環境づくりに努める。



竹爪 憲吾 議員



録画映像

Q 子育て支援と対策は

A 健康福祉部次長

保育士確保と施設の整備をし、放課後児童クラブは、民間委託へ。

【Q1】
待機児童等の現状と対策は。

【A1】
今年度2月で64人が入所できていない。保育士確保のための補助金を創設し、令和7年度には8人の利用を見込んでいる。施設整備への補助金交付により、令和8年4月には、くまの中央保育園の20人定員増。令和9年4月からは、聖徳幼稚園の低年齢児23人増を予定する。



▲ 定員増するくまの中央保育園

【Q2】
放課後児童クラブの現状と対策は。

【A2】
入会児童数が増加、支援員の確保が困難。運営業務を民間事業者へ10月の予定で委託し、人材確保とノウハウを活用し、利便性、安心感を向上させる。

【Q3】
小中学校の給食費の無償化は。

【A3】
令和8年4月から、小学校は「給食費無償化」が行われる予定。中学校については、今後国等の動きを注視する。

Q 地域コミュニティの場が減少、対策は

A 住民生活部長

各自治会と協力し対応を考えていく。



録画映像



水原 耕一 議員

【Q1】
役員不足により地区社協等の行事が廃止される事態が起こってきているが対策は。

【A1】
各団体の役員の確保については大変苦慮されていると思う。地区社協については、社協の運営支援を活用し、地域団体との話し合いが大切であると思う。

【Q2】
廃止されそうな行事をやってもらうために、補助金等を出し地域おたすけ隊等をつくり、地域コミュニティ維持再生をお願いする制度作りは考えられないか。

【A2】
実行できる人材の確保が困難と思われる。今のところ制度作りは難しいと考える。

【Q3】
小学生は子供会等でコミュニティの場に参加してもらっているが、中学生になるとクラブ活動等で忙しくなるのか参加しなくなる。改善策はないか。

【A3】
自治会や小中学生を巻き込んだイベント等を実施し、幅広い年齢層での交流を図るような取り組みを町内で広げていくことが大切だと思う。



Q 民生委員・児童委員に対する支援は

A 健康福祉部次長

民生委員・児童委員協議会活動の下支えに努める。

【Q1】
日中仕事をされている方は地域の見回り活動が難しい。町の考えは

【A1】
地域の「つなぎ役」になってもらうようお願いしている。地域の見回りの方法は、それぞれ工夫して行っている。

【Q2】
仕事をされている方は月1回の定例会の出席が難しい時もあると伺う。オンライン会議等は考えられないか。

【A2】
協議会で検討していく。

【Q3】
町からの報酬、月1万円では少なすぎる。地域協力隊等を兼務して報酬の引き上げはできないか。新しい形の民生委員を作っていくのであればいけない時期にきていると思うが。

【A3】
法律において給与を支給しないと定められている。現在、無償のボランティアとして自覚をもって活動されている。





沖田 ゆかり 議員



録画映像

Q 出生届のオンライン化を

A 住民生活部長

令和9年3月には実施したい。

【Q1】

子育て世帯の負担軽減のために、電子申請を実施されているが現在の状況は。

【A1】

マイナポータルによる保育所入所申込については、令和5年度15件、令和7年度現在80件となっている。

【Q2】

産後の最も身体に負担がかかる時期の、出生届こそオンライン化をするべきではないか。

【A2】

マイナポータルを利用した出生届では、親の本籍地しか届け出できないため、取り組んでいない。

【Q3】

令和9年3月からは親の住所地でも対応で

きるようになる。また国では同時に児童手当の申請、出生連絡票の提出、健康保険の加入、医療費助成の申請、出産育児一時金の申請、マイナンバーカードの健康保険証利用登録が、ワンストップでできる環境を整備されることなので是非とも実施していただきたい。

【A3】

令和9年3月には実施したい。



Q 高齢者等への環境省指針のゴミだし支援を

A 住民生活部長

高齢化進む中、課題認識し調査・研究している。



録画映像



片川 学 議員

【Q1】

令和元年から要望してきた、他自治体事例では実施に3年を要す、何時取り組むのか。

【A1】

既存福祉サービスで対応しているが、関係者と協議し、足りないものを研究する。

【Q2】

既存サービスである「ほっとくま」のニーズ調査・周知不足に利用者1回500円、高齢・低所得者の負担感、支援向上へ考慮すべきでは。

【A2】

広報・ホームページで周知努力している。以前料金改定を協議したが、移動等とサービス内容は妥当と判断し、改定に至っていない。

【Q3】

広く周知し65歳以上と限定せず、年齢間

わず、利用希望者にサービス提供を。

【A3】

先進地事例を確認・参考に当町に即した年齢問わず、一時利用希望者へも提供できるよう研究実施していく。

【Q4】

中学生の見守り・ゴミだし支援は授業の一環として子どもの地域貢献・道徳の体験学習として大切と、意欲ある教育長の答弁があった。

【A4】

大切であると考えている。ニーズ調査や通学路の安全性を踏まえ、今実施できていない。日頃より地域貢献に関して指導している、今後状況に応じて実施に向け推奨し、事例が広まることを望む。

Q 断水時の水の確保と供給を

A 住民生活部長

町内の配水池や浄水場の水の確保をしていく。

【Q1】

南海トラフ地震の被害想定では建物全半壊1,446棟、避難者数1,270名となっている。備蓄倉庫の水を避難者に配布した場合、何日分になるのか。

【A1】

500mlの水が9,400本備蓄されており、1人1日3ℓ必要なため1,560人分となる。1日でなくなるため、今後も備蓄を増やしていく。

【Q2】

飲料水だけでなくトイレやお風呂などの生活用水が必要だが、給水車や給水タンクの整備が必要ではないか。

【A2】

国の交付金を活用して給水タンクを購入するよう進めていく。給水車については、今の

ところ町で整備する予定はない。

【Q3】

実際に職員が動けるよう給水タンクを使用した訓練が必要ではないか。

【A3】

給水タンクは初めて配備されるため、訓練も考えていく。



▲ 組立式給水タンク

Q 過去に無い熊野トンネル・矢野峠通行止めは

A 建設農林部長

町民に多大な影響、管理者と連携に取り組む。



【Q1】

危険防止観点と冬用タイヤ未利用によるスタック状態で、通勤通学時を含む長時間、過去に例無く、今回の降雪量が通行止めに値しない。町民の重要な幹線道路を、行政はどう捉えているか。

【A1】

日常生活に支障が出たため、警察へ出向き長期の通行止めは避けてもらうよう要望した。ノーマルタイヤでのスタック車が多く、処理が追いつかない状態であったとの回答。せめて朝夕の通勤通学時間帯は通行できるよう要望した。

【Q2】

冬季道路維持の塩カル等融雪材の散布事業は現在実施しているのか。

【A2】

トンネル、矢野峠ともに道路管理者である県、市がそれぞれ路肩の複数箇所凍結防止剤を配置し、近隣住民、企業、道路利用者、交通管理者が随時、適宜散布可能な状態である。併せて路線委託業者も散布実施している。

【Q3】

降雪の予報時ノーマルタイヤでの走行は避け、通行止めよりタイヤ規制と、その意識の周知を図り、広報等、トンネル・矢野峠上り下りに電光掲示板等設置し、それぞれのシーズンに応じて交通安全の周知努力し、今後通行止めを回避いただく要望をする。

【A3】

雪道を走行する場合は、冬用タイヤの装着を広報等により周知していく。

筆の里工房周辺整備事業の進捗状況を視察

～総務建設委員会～



本委員会では3月12日、9月のオープンを目指し、昨年5月から建設工事が行われている観光交流施設「筆の里工房・創作館」を現地視察しました。

筆の里工房・創作館の概要

【構造】木造一部鉄骨造
 【延床面積】2,359㎡
 【工期】令和7年5月26日～
 令和8年5月25日

安芸郡4町で勉強会・意見交換会

～安芸郡議員研修会～

令和8年2月5日、海田町議会主幹により、サンピア安芸にて合同研修会が行われ、熊野町議会からは12名が参加しました。

【研修内容】
 今後の公共施設整備等のあり方について

【講師】
 山口県周南市 都市整備部公園花とみどり課
 あかまつとおる
 赤松 透氏



公民連携事業に関する考え方、成功事例等について勉強しました。

得た知見を活かし、今後の議員活動や政策実現の充実に努めてまいります。

Q 創作館等新規施設の運営戦略は

A 副町長

リピーターの獲得に努めつつ、効果的かつ持続可能な運営に努める。



尺田 耕平 議員



録画映像

【Q1】

本年9月にオープンする創作館だが「何故、あのような不便な場所にあれだけの施設を増設するのか」「今後どれだけの税金をつぎ込んでいくのか」など多くの住民から懸念や否定的な声を多く聞く。

令和9年度に公園が完成する予定だが、その後の筆の里工房一帯の年間運営費は約2億5千万円だと同った。国や町が示す40年後の人口予測は現在より半減する見込みとなっており、それに伴い町民税など自主財源の減収が予測される。

毎年のように物価高騰や最低賃金が上昇しているが、将来的に歳入は右肩下がりで、歳出は右肩上がりが見込まれるが、町に維持運営するための財政的体力はあるのか。

【A1】

将来的には人口減少に伴い自主財源の確保が厳しい状況になることが見込まれることから、歳出の抑制や有効な起債の借入れにより、実質負担の軽減に努めたい。

【Q2】

筆の里工房の集客が低い原因はアクセスや道路インフラにあると思うが、北部農道は農道であるため改良するにも制限がある。農道から町道へ変更することで、改良等においては国の各種交付金を活用することができメリットが高いため変更を強く要望したい。

【A2】

将来的には町道にした方が管理がしやすいと考えている。



永年の功績により受賞！ ～自治功労者等表彰～

令和7年度自治功労者等表彰式において、議員在職20年以上として、大瀬戸宏樹氏、議員在職14年以上として、時光良造氏、民法正則氏、片川学氏が広島県町議会議長からそれぞれ表彰を受けられました。



▲左から民法議員・大瀬戸副議長・時光議長・片川議員
 町政発展のため、今後も努めてまいります

ガンバル部活!! 熊野中学校・野球部



令和8年度の野球部は3年生7名・2年生7名・1年生7名総勢21名。春季大会に向けて日々練習に励んでいます。熊中初の女子部員、梶川さんも男子に負けないプレーで汗を流しています。野球経験のない私ですが取材を通じて、後輩の頑張りを目の当たりにし、もっと応援したいと思いました。

取材:世良・藤本



ふじもとみつぎ

顧問 藤本 充基 先生

野球をすることを通して、社会から必要とされる人間になれるように日々指導をしています。地域の行事などに貢献し、地域から応援されるチームになるよう活動しています。野球やソフトボール経験、未経験、男女も関係なく、チームが決めた目標の達成に向け一丸となり頑張ります。



もうり はるま

主将 毛利 陽真 さん

- ・嬉しい瞬間
練習してきたことが、試合で発揮され、他の中学校やクラブチームに勝った時です。
- ・頑張っていること
キャプテンとして、日々のミーティングの中で一人ひとりの考えや思いを大切に、全体を見てチームをまとめています。



よしだ りくま

副主将 吉田 陸真 さん

- ・嬉しい瞬間
目標を決めて日々の練習に取り組んできた結果、県大会出場を果たせたことです。
- ・頑張っていること
勝っている時も負けている時も変わらず、チームの雰囲気明るくし続けることです。



かじかわ れあ

女子部員 梶川 鈴杏 さん

小学校から続けてきた大好きな野球をするため入部を決意しました。女子一人という環境を挑戦と捉え、チームの一員として練習に励み、貢献できるよう最後まで全力で頑張ります。応援よろしくをお願いします。

題字の揮ごう者



熊野中学校3年生
おきもと こう
沖本 幸さん

あ と が き

木々の緑が目まぶしい季節となりました。
令和8年度当初予算案が可決され、子育て、教育支援をさらに充実してまいります。
物価高騰対策としてのクーポン券の利用も始まりました。
よりいっそう住みやすい町、住んで良かったと思える町をめざしてまいります。



竹爪 憲吾

次の定例会は **6月2日(火曜日)** 開会を予定しています

「くまの議会だより」は、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。